

白根市をはじめ、近隣市町村や住民が一丸となって、運動を展開。その熱意と努力が実を結び、五十八年度は一学級増の普通科六学級募集となりました。しかし、この一学級増のうち一学級は恒久増ですが、もう一学級は単年度臨時増のため、五十九年度からは普通科五学級となります。この地域に一つしかない高校を、県下に誇れる高校とするためには、市民の理解と盛り上げが必要です。学級増が決定した白根高校をレポートしてみました。

市政への意見、要望などを聞く「市長へのはがき」の中で、受験生の一人から切々と訴えたはがきが届きました。私たちは、今年受験です。今年例年よりも受験生が多く、中学浪人が多く出るのではないかと心配です。白根高校の学級数を増やしてください。一学級でも多く増やしてもらえたら、受験生は大変助かります。ぜひ、お願いします。

素直に喜ばない一学級増

三十八年四月、白根市周辺住民の熱望により開校した白根高校（長谷川憲一校長）は、普通科四学級、家政科一学級と、定時制の本校と臼井分校でスタート。臼井分校は五十一年に閉校し、定時制は五十六年に閉課程。五十六年度から家政科も募集停止となり、普通科四学級の小規模校になってしまいました。そこで、今回の学級増を切望する地域あがりの運動に盛り上がり、五十八年度二学級増、五十九年度以降一学級増が決定した訳ですが、素直に喜ばないものがあることは否めません。

二学級増になるか、一学級増にとどまるかは、白根高校の将来に大きな差が生じます。それは六学級になると、用地買収と増築が必要となるわけで、六学級高校になるよう、より大きな運動を展開していく必要があります。

根強い学区の新潟市指向

白根市は学区（公立高校通学区）に恵まれています。そのため、白根高校が新設されても、新潟市志向の強い特異な学区形態は変わりませんでした。「新潟市内の高校へ通わなければ進学できない」という声を聞きます。本当にそうでしょうか。白根高校からも、新潟大学や早慶などの東京六大学にも多く進学しています。あくまでも本人の努力次第です」と、長谷川校長は力説します。考え方次第では、通学に要する時間をいくらでも地元の白根高校で切磋琢磨できますし、通学にかかる経済性もかなり大きいはず。非行も少なく、小規模高校の割にはスポーツ面でも優れた成績を残している高校でもあります。

郷土の誇れる高校に盛り上げよう

若者のふるさと指向は、高校進学と大きなかわりを持ちます。母校愛と郷土愛は密接な関連があることから、白根高校をより大きく発展させ、郷土の担い手を育てていきたいものです。この地域唯一の高校を、市民こそ誇れる高校にすべく、盛り上げていきましょう。

1学級を増設

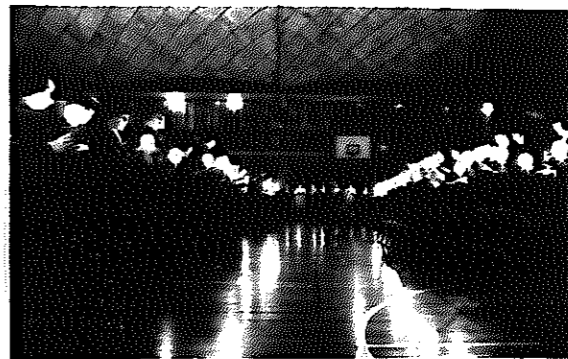
県立白根高等学校

運動が実り「普通科」

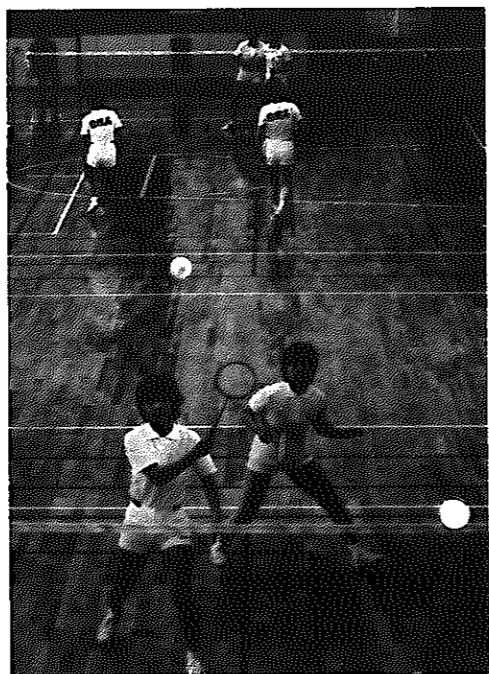
58年度のみ2学級を増設して募集



家庭クラブを中心にボランティア活動も



キャンドルサービスで卒業生を送る予せん会



スポーツクラブ活動も活発です



県立白根高等学校
長谷川憲一校長

地域の発展は地元の高校を大切にすることから

白根市をはじめ、近隣市町村と住民のみなさんが一体となって、白根高校の普通科二学級増の実現にむけて強力な運動を展開され、みなさんの白根高校に寄せる絶大なご期待を、今さらながらありがとうございますと感じました。

幸いにご要望どおり、五十八年度は二学級増の普通科六学級募集と決定し、まずはご同慶に堪えません。

しかし、この二学級増のうち、一学級が恒久増で、もう一学級は単年度臨時増ですから、五十九年度からは普通科五学級ということになります。家政科一学級がなくたって、普通科単独校に転換しますが、学級規模は元通りというところで。

新潟市の近郊衛星都市として、発展を期している白根市唯一の高校としては、少なくとも六学級規模

模くらは必要ではないかと思いますが、新潟市への流出が多いという現状のようです。

白根市は学区が広く、高校進学に関する限り県内最高に恵まれており、どこへでも行けるわけですが、何も遠くへ行く必要はありません。普通科の場合はなおさらです。地元の高校を大切にすることが地域の発展につながるのではないのでしょうか。

白根高校では進学も就職も不利だという声も聞いております。本当にそうでしょうか。すべて本人の才能と努力次第でありましょう。他のせいにするのは弱虫の口実です。「鶏口となるも牛後となるなかれ」ということわざがあります。せっかくなので新潟へ行っても、牛後となったんでは心配でしょう。

白根高校も、地域のみなさんのご期待に応えるようがんばっております。昨年度来、白根高校のイメージアップに邁進しております。申すまでもなく、学校は地域の学校です。地域のみなさんが、誇りをもって育ててこそ、学校もよくなりますし、見捨ててしまえば地域も悪くなってしまいうことでしょう。

どうぞわが子同様、白根高校に對して、一層のご支援を心からお願い申し上げます。



この地域ただ一校しかない白根高校を盛り上げ、発展充実していくには、市民の理解と協力が必要です